広報

かるまい

4

Karumai Public Relations Since 1957

Apr. 2018 No.709

万感の思いを胸に、未来へ―

【今月の表紙】軽米高校卒業式

町長施政方針

町議会3月定例会が2月26日から3月9日まで開かれました。初日の施政方針演述で山本賢一町長は「重点施策の充実強化を図り、町の将来像である『豊かな自然の恵みと彩り、歴史と食文化の薫るにぎわいのまち』の創造に向け、積極的な町づくりに取り組む」と決意を述べました。

平成30年度の主な施策、事業などについてお知らせします。

主要施策

◆百人委員会

2期目最終年となり、提言を取りまとめていただくこととしています。

提言に対しては1期目の課題等を含め、協働参画の町づくりの視点から、その課題解決に取り組んでいきます。

◆再生可能エネルギー推進

山内地区の「軽米西ソーラー・軽米東ソーラー」は、平成31年中の稼働に向け、設備工事を進めます。

米田地区の「軽米・尊坊太陽光発電所」は、住民説明会を経て、今年5月半ばに起工式を行い本格着工の予定です。

高家地区の「メガソーラー施設」は、今年3月中の県との林地開発上の事前協議開始を目指しています。

◆かるまい交流駅（仮称）

31年度の一部工事の着手に向けて詳細設計業務を行います。

◆火葬場

31年度の着工に向けて、火葬場整備事業調査測量設計業務を進めます。

◆特別養護老人ホームいちい荘

31年度内の完成を目指し、詳細設計業務を実施することになっています。

町からは事業費に対する補助のほか、社会福祉協議会と事業推進部会を構成し支援します。

◆公営住宅整備

29年度に引き続き、町営住宅の建て替え事業を進めます。

◆国民健康保険

今年4月からの国保制度改革に伴う予算編成を行い、町民の皆様の負担が軽減されるようさらなる医療費の適正化に努めます。

豊かな自然と美しい景観のまちづくり

◆花いっぱい運動

「花いっぱいコンクール」と「チューリップ植栽事業」等、地域団体などの協力をいただきながら、これまで以上に参加を呼びかけ、花と緑に包まれた町の創造に努めます。

◆環境衛生

町民総参加で道路河川等の清掃を行う「クリーンアップデー事業」を継続します。

生ごみ処理事業は、家庭用生ごみ処理機とコンポスト購入費補助事業を継続します。

29年度から導入した発酵促進材を利用した町独自の消滅型の生ごみ処理業務の機能改善に取り組み、減量化を図ります。

高齢者もいきいき暮らすまちづくり

◆高齢者福祉対策

介護予防の取り組みや町独自の配食・見守り等の生活支援事業を継続して行います。

在宅生活を支える医療や介護の連携、認知症の方々への支援等、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に努めます。

◆こころの健康づくり

ゲートキーパー養成講座の開催や、傾聴ボランティアのフォローアップ研修、自殺予防講演会を実施するなど、町民それぞれに応じて対応できる体制を整備し、全職員をあげての取り組みとなるよう努めます。

◆障がい者福祉対策

軽米町障害者福祉計画と第5期障がい福祉計画に基づき、障がい者が自立した社会生活を営むことができるよう、障がい福祉サービスの提供や補装具等の給付や相談支援体制の強化を図ります。

◆後期高齢者医療

高額療養費と保険料の軽減特例措置の見直しが29年度から段階的に行われており、町民の皆様には丁寧に周知・広報を行います。

子育て支援日本一のまちづくり

◆保健事業

生後4カ月まで全戸を訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を継続実施します。

新たに保険外診療となっている新生児聴覚検査への助成を行い、育児支援体制の一層の充実を図ります。

特定不妊治療支援事業を継続し、32年度末までの設置が予定される「子育て世代包括支援センター」の構築を検討することとしています。

日本一の子育て支援を目指し取り組んでいます

◆食育の推進

健全な食生活の実現を目指し、食育推進計画について検討していきます。

◆医療費助成

未就学児と妊産婦に対して県で定めた一定負担額のみ支払う「現物給付制度」に加え、一定負担額についても町単独で助成し、窓口負担をゼロにする受給者の負担軽減を図っています。

対象者を高校生までに拡大した児童生徒医療費助成は、より一層の周知に努めます。

◆子育て支援

育児についての相談などを行うピヨピヨ広場や、軽米児童クラブの小軽米・晴山小学校児童の送迎事業、常設保育園での2人目以降の保育料原則無料化など、子育て支援の取り組みを継続します。

保育園の一時預かり保育などについては、引き続き実施に向けて検討していきます。

育児相談などを行っているピヨピヨ広場

◆保育園

野外保育、要支援児へのきめ細やかな対応などの、特色ある保育を継続し、保育の質の向上を推進します。

◆学校教育関係

学校給食費の一部助成の補助率をアップします。

町単独で学力向上支援員、特別支援員を全ての学校に配置し、ICT機器の整備などによる教育環境の充実を図り、児童生徒の学力向上と学習活動の支援に努めます。

ICT機器を活用した授業

県立軽米高校の入学者確保を目指し、教育環境の整備や通学費の援助などの支援を行います。

◆生涯学習

住民の主体的な学習活動を支援しながら、交響楽団演奏会の実施など、多様な学習機会を提供し文化の薫る楽しい町づくりを進めます。

町民体育館の修繕工事等、スポーツ施設の整備を進めながら、各種スポーツへ参加する機会を増やし、町民の皆様の健康増進を目指します。

中央公民館、町立図書館等の学習拠点施設については、かるまい交流駅（仮称）整備事業との整合性を図りながら、施設整備を進めます。

屋根・外壁と照明器具の修繕が完了した町民体育館

資源を活かした地域産業のまちづくり

◆園芸振興

ほうれん草、花きおよび雑穀は、新技術の導入による生産性の向上と担い手の確保・育成に努めます。

葉たばこ、ホップは、関係機関と一体となり安定生産と品質の向上を図ります。

◆水稲

30年産の主食用米から、国からの生産数量目標の配分が廃止されます。

今後は、県で設定した地域の生産目安を参考に、町として需要に応じた米生産を進め、水田を有効に活用した飼

制度変更により需要に応じた米生産を進めます

料用米等の転作作物の生産拡大を図り、農家所得の向上を図る取り組みを推進します。

◆畜産振興

新ＴＰＰ（ＣＰＴＰＰ）の動向を伺いながら、和牛の飼養管理における低コスト化や担い手の育成、農家の規模拡大を推進するための施策に取り組みます。

子牛価格の高騰により、肥育農家が苦しい経営を余儀なくされていることから、引き続き肥育素牛導入について支援します。

中小家畜を振興するため、国、県の価格保証制度への助成を継続します。

◆林業

木炭、しいたけ生産者や森林組合等との連携を図り、軽米町森林整備事業や広葉樹里山森林資源活用再生事業を推進します。

31年度税制改正で創設予定の森林環境譲与税（仮称）が市町村に配分される方針であるため、関係機関との連携を密にして森林整備に係る施策について検討していきます。

和牛は新ＴＰＰの動きを注視し取り組みます

◆日本型直接支払制度

多面的機能支払交付金事業16組織、中山間地域等直接支払い交付金事業31組織、環境保全型農業直接支払い交付金事業3組織に対し、引き続き支援を行っていきます。

◆農地活用

農地中間管理事業を活用しながら、農地の借入れ、貸付けを推進します。

人・農地プランの検討会で農地の有効活用に係る検討を進めます。

◆担い手育成

農業次世代人材投資事業を活用し、新規就農者の確保を継続し、新規就農者の経営開始に向けた取り組みを支援します。

◆商工業振興

商工業者の育成や指導団体である軽米町商工会と軽米中央商店会が実施する各種事業に対し財政的支援を行います。

◆中心商店街の活性化対策

商品券発行事業に賛同する全商工業者を対象に、町内で共通して使用できる「プレミアム付き町内共通商品券」の発行を行います。

町内全域の個店を対象とする「かるまいお買い物ラリー」に対する支援など、町中心商店街等の利用促進と、商店街の魅力の向上に努めます。

◆地場産業の振興

「食の町かるまい」を県内外に発信するとともに、地場産品の特産品化と販路拡大事業を支援することで、新たな農産物や特産品の掘り起こしや既存商品のブラッシュアップを図ります。

町内共通商品券

多様な交流が生まれるまちづくり

◆イベント

「軽米秋まつり」は、9月15日から17日までの3日間の日程で開催する計画です。

「森と水とチューリップフェスティバル」は、5月の大型連休中のチューリップの開花に向け、早咲きから遅咲きの珍しい品種の球根をそろえ、子どもからお年寄りまで楽しめるイベントを企画します。

「食フェスタ・ｉｎかるまい」は、中心商店街の賑わいや天候の影響を受けにくい施設での開催について協議を進めていきます。

「かるまい冬灯り＆ハイキュー・フォトロケーション」は、イルミネーションの点灯をはじめ、冬の風物詩としてさらに定着するよう、引き続き必要な支援をします。

冬の風物詩となったイルミネーション

◆町づくり交流推進事業

漫画「ハイキュー!!」の聖地として当町を訪れるファンが国内外から増加しています。

交流人口の増加や移住・定住の観点から、30年度も事業を展開していきます。

◆在京軽米会創立30周年記念事業

平成元年に発足した在京軽米会が30周年を迎えます。

30周年の節目にふさわしい盛大なイベントとして開催したいという会員の要望を受け、郷土芸能団体の出演や一部を助成し、町民の参加を募るなど、在京軽米会の一層の充実を図ります。

豊かな暮らしを支えるまちづくり

◆道路整備

町道整備は29年度に引き続き、参勤街道線、蛇口蜂ケ塚線、赤石峠小玉川線、みそころばし竹谷袋線、軽米高家線の5路線の整備を行います。

通学路等の安全対策として、町道下小路保育所線の歩道整備事業を引き続き進めます。

橋梁修繕・橋梁点検を実施し、町道・河川の適正な維持管理を図り、交通安全確保に努めます。

◆交通安全対策

近年、高齢者が関わる交通事故が多発していることから、29年度に新設した75歳以上の高齢者の方を対象とする「高齢者運転免許自主返納支援事業」を引き続き実施します。

30年度に更新が完了する屋外防災行政無線

◆防災対策

行政区などを単位とする自主防災組織の設立をより積極的に推進します。

防災に関する各種訓練・研修会を実施し、自助・共助の取り組みの充実を図ります。

老朽化した屋外防災行政無線は、30年度に全ての拡声子局を更新します。

◆消費者行政推進

近年、悪質な契約や商法による被害が広い世代で発生しており、二戸消費生活センターと連携し、被害防止を呼びかけ、町民の皆様が安心した暮らしができるように努めます。

◆住環境整備

萩田地区における公営住宅整備事業のほか、既存の町営住宅の適正な維持管理に努めます。

一般住宅の耐震診断費や耐震改修工事費への助成事業、住宅リフォーム奨励事業を継続して進めます。

◆公共下水道事業

町中心部の事業面積123ヘクタールについて事業計画を見直し、概成に向けた変更手続きを行います。

向川原地区の管路布設工事を引き続き進め、供用開始区域における下水道の普及促進に努めます。

◆水道事業

「安全な水の安定供給と健全な経営」を目標とし、水道施設の適切な維持管理を行います。

老朽化した管路施設の計画的な更新に努めます。

◆公共交通対策

町民バス・コミュニティバスの運行は、高齢者の皆様をはじめとする交通弱者や高校生の通学手段等として運行されている現状を踏まえ、今後も地域住民の皆様の意見を伺いながら、より良い交通手段となるよう取り組みます。

結いの精神のまちづくり

◆行政区活動交付金・補助金

地域の自主的・主体的活動を支援することを目的とする行政区活動交付金と地域活動支援事業費補助金は、各行政区、町内会などがより利用しやすい制度となるよう見直し、自主防災組織の設立や事業経費などについても対象とし、今後さらなる制度の充実を図っていきます。

企業や地域づくり団体等の事業支援を目的とした「協働参画地域づくりチャレンジ事業支援金」制度は、29年度に補助要件の見直し等を行いました。

今後は制度の周知を図り、より積極的に活用いただけるよう努めていきます。

協働参画地域づくりチャレンジ事業支援金を活用し、昨年開催されたよさこいコンサート

教育長教育行政方針

2月26日の町議会定例会の教育行政方針演述で、菅波俊美教育長は「軽米の将来を担う子どもたちの健全な成長と生涯学習のまちづくりをさらに発展させるため、国・県の動向を十分にふまえ、軽米町教育振興基本計画に基づき、教育行政のなお一層の推進に努めていく」と決意を述べました。

平成30年度の主な施策、事業などについてお知らせします。

学校教育の充実

◆幼児教育
子どもたち一人一人の個性を伸ばし、学校生活に向けた社会性が身に付くよう、創意ある教育活動を展開します。
近年の社会環境の変化に伴う保育ニーズに応えるため、預かり保育や相談活動などを実施します。

◆学力向上
新しい学習指導要領にしっかりと対応し、「わかる授業」の実現に向けて教職員研修による授業改善を進めます。
全ての学校に学力向上支援員を配置し、個に応じた、きめ細かな指導体制の充実を図ります。

サマー・ウインター学習会の開催や中学生への実用英語検定・漢字能力検定の受検料の助成を継続します。

◆キャリア教育の推進
事業所の協力をいただき、職場体験学習に取り組みます。

◆グローバル人材の育成
海外派遣事業などを通し、国際感覚豊かな人材の育成に努めます。

海外派遣研修でネーティブの英語に触れます

◆情報教育
整備を進めているICT機器を有効に活用し、情報活用能力の育成に努めます。
ノーメディア週間などの取り組みを進め、情報社会の中でメディアと適切に関わる力を育みます。

◆道徳教育
道徳の授業を特別の教科と位置づけ、協調性や思いやりなど豊かな心を育む授業を展開します。

◆生徒指導
スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、福祉関係機関等と連携を図りながら、子どもの日常に寄り添った教育相談体制を確立します。

◆いじめの防止
児童生徒の日常を注意深く見守り、定期的なアンケートや面談の実施などにより、いじめを早期に発見し、学校全体で組織的に対応するよう、職員の意識を高めます。

◆健やかな体を育む教育
規則正しい生活習慣や食生活を身に付け、健康に暮らす知識と判断力の育成を図ります。

◆学校給食
丈夫な体をつくる栄養管理と地産地消を取り入れた食育指導を推進します。
給食費の助成を実施します。

◆特別支援教育
就学支援委員会の開催や、全ての学校に特別支援員を配置することにより、適切な教育支援を行います。

◆地域に開かれた学校づくり
学校通信などにより情報を積極的に発信し、協働による教育課題解決のため、学校と家庭と地域が連携した学校づくりを進めます。

◆中高一貫教育
中高6年間を見通した学習指導を行い、学力の向上を図ります。

◆県立軽米高校支援
環境整備、図書整備費の助成、実用英語検定等の受検料の助成、給食費の助成などを実施し、魅力ある学校づくりを支援します。

◆教職員研修
県教育委員会と連携を図りながら、実践的な教員研修を実施し、「わかる授業づくり」と使命感を持った人材育成を進めます。

スポーツ・文化の振興

◆生涯スポーツの振興
29年度は、町民体育祭に町内の小・中・高校生に参加をいただき賑わいのある大会を開催することが出来ました。
30年度も、スポーツ施設、設備の充実に努め、町民体育祭などの行事や各種団体が主催するスポーツ大会の開催支援を行います。

◆芸術文化の振興
町民文化祭、郷土芸能発表会、生涯学習フェスティバルの開催など、住民が主体となって行う文化活動の活性化を図ります。
交響楽団演奏会など優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供し、町民の創作活動を支援します。

町民体育祭は子ども会、中学生、高校生の生徒の参加で例年以上に盛り上がりを見せました

生涯学習のまちづくり

◆生涯学習
生涯学習カレンダーの全戸配布などにより、学習機会の情報提供に努め、住民のニーズを掘り起こしながら、各種講座の開催や自治公民館などを拠点とした地域の主体的学習活動を支援します。

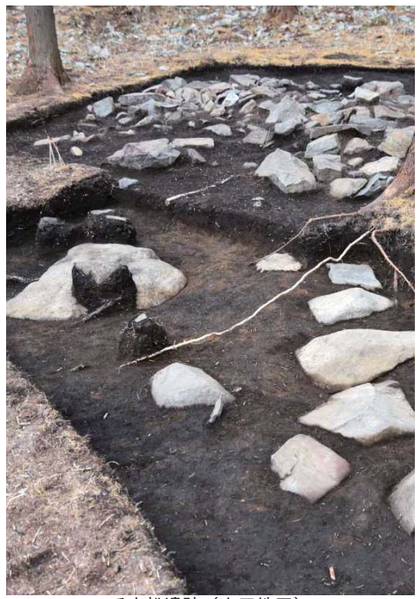
◆家庭教育
子どもを持つ親を対象に、発達段階に応じた子育て、しつけ、食育などに関する家庭教育学級を開催します。

◆放課後子ども教室
全ての小学校に放課後子ども教室を設置し、子どもの安全な居場所づくりを支援します。

◆学校支援
コーディネーターの配置により、小・中学校および高等学校の学校図書館の運営をサポートし、学校図書の活用促進と充実を図ります。

◆青少年の健全育成
民泊を取り入れた音更町相互訪問研修やリーダー研修会など体験的な活動を通して、将来地域を担う青少年が人間性豊かに成長するよう取り組んでいきます。

◆生涯にわたる学習活動の支援
高齢者が楽しく集える第46期寿大学や共食事業などを開催し、受講者が生きがいをもって健康的に暮らせるような事業展開を進めます。


千本松遺跡（山田地区）

社会教育環境の整備

◆中央公民館
町民の学習活動の拠点として、各種町民講座を開催します。
活動団体が利用しやすいよう施設を運営します。

◆町立図書館
図書館支援協力会やボランティアの皆様の協力をいただきながら、図書館講座やおはなしの会など本に親しむきっかけとなる催しを企画・開催します。

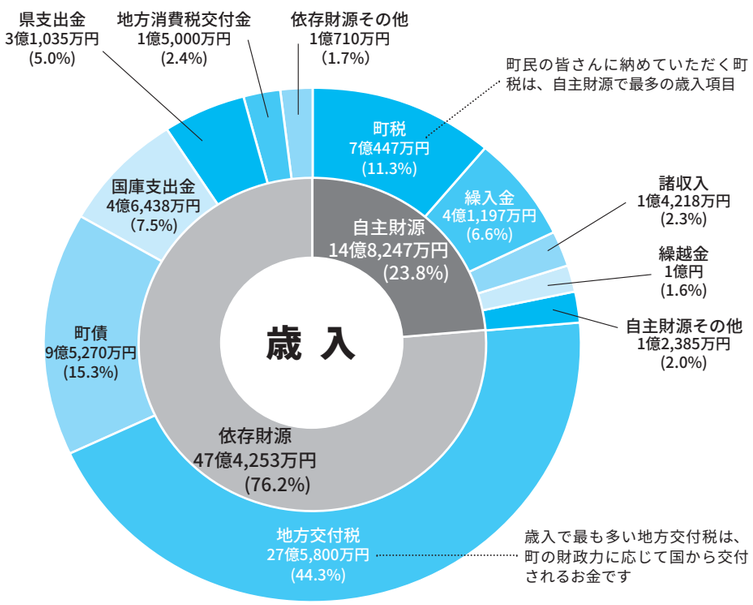
◆文化遺産の保存と伝承
千本松遺跡の継続した発掘調査を進めるなど、計画的に調査発掘を実施し、地域に伝わる芸能や郷土資料の伝承活動を支援します。

当初予算

一般会計62億2500万円

町議会3月定例会で平成30年度当初予算が可決されました。一般会計が62億2500万円、特別会計が20億9833万円で、総額は83億2333万円の減額となりました。平成30年度町予算の概要についてお知らせします。

一般会計
歳入歳出総額　62億2,500万円



歳入

依存財源の割合 2・6ポイント増

歳入は町民の皆さんに負担していただく税金や使用料などの自主財源と、地方交付税や国や県からの補助金などの依存財源に分けられます。

割合は依存財源の方が高く、76・2%と昨年度から2・6ポイント増加しています。その中で最も多いのは地方交付税で、27億5800万円となりました。自主財源は、町民税や固定資産税、軽自動車税などの町税が7億447万円と最も多く、次いで基金などからの繰入金が4億1197万円となりました。

町税を町民一人当たりに換算してみると、一人当たり7万4999円を納めることになります。

歳出

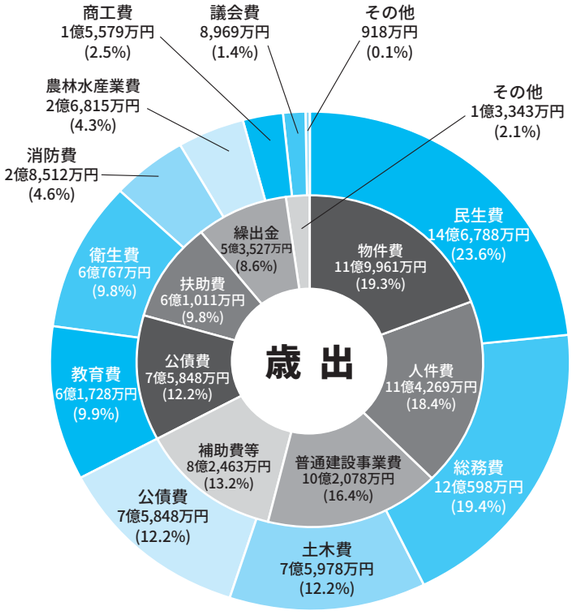
目的別で民生費が最多支出

歳出を目的別に分類すると、子育て支援や老人福祉事業などの民生費が最も多く、14億6788万円と歳出全体の23・6%を占めています。次に多いのが総務費で12億598万円です。歳出を性質別に分類すると、物件費や人件費が多くなっていますが、昨年度と比較するとともに減少しています。

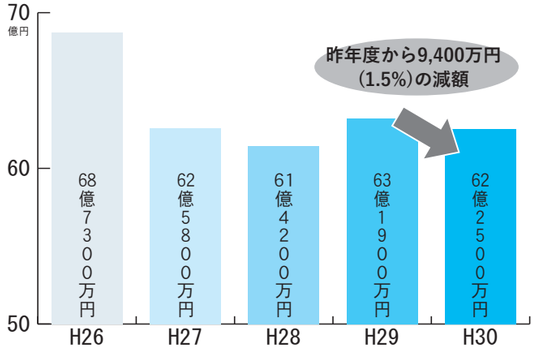
歳出額を町民一人当たりに換算すると、一人当たり66万2657円の経費で町政を進めることになります。

外円＝目的別歳出
経費を行政目的で分類したもの

内円＝性質別歳出
経費を性質によって分類したもの



■一般会計当初予算額の年度別推移



■平成30年度の会計別当初予算額と対前年度比

会計別	当初予算額	対前年度比
一般　会計	62億2,500万円	△1.5%
国民健康保険特別　会計	11億7,500万円	△25.5%
後期高齢者医療特別　会計	9,100万円	2.8%
介護保険特別　会計	6,660万円	△6.2%
下水道事業特別　会計	1億6,910万円	1.7%
水道事業　会計	5億9,663万円	△0.9%
総　額	83億2,333万円	△5.7%

30年度の主要事業

◎ 豊かな自然と美しい景観のまちづくり

花いっぱい運動推進事業	99万円
生ごみ処理事業	622万円

◎ 高齢者もいきいき暮らすまちづくり

生活支援体制整備事業【新規】	660万円
認知症総合支援事業【新規】	904万円
社会福祉協議会運営費補助金(拡充)	5,159万円
高齢者等インフルエンザ予防接種事業	738万円

◎ 子育て支援日本一のまちづくり

学校給食運搬車整備事業【新規】	808万円
結婚新生活支援事業	300万円
医療費給付事業	2,868万円
児童クラブ運営事業	1,069万円
妊産婦乳児健康診査事業(拡充)	750万円
小中学校児童生徒学校給食費助成事業(拡充)	963万円
軽米高校教育振興会事業費補助金(拡充)	649万円
小中学校学力向上推進事業	1,352万円

◎ 資源を活かした地域産業のまちづくり

地方創生交流生産推進事業【新規】	179万円
地域おこし協力隊推進事業	543万円
６次産業化推進事業	788万円
農業次世代人材投資事業	1,275万円
軽米町工芸作物生産振興事業	465万円
軽米町畜産産地づくり強化対策事業	1,372万円
多面的機能支払交付金事業	1,557万円
中山間地域等直接支払交付金事業	1,997万円
軽米町新規求職者等地域雇用促進奨励金	1,600万円

◎ 多様な交流が生まれるまちづくり

在京軽米会創立30周年記念事業【新規】	201万円
聖地巡礼交流推進事業	244万円
かるまい交流駅整備事業	6,244万円

◎ 豊かな暮らしを支えるまちづくり

町民バス整備事業【新規】	2,136万円
火葬場整備事業【新規】	2,519万円
デジタル防災行政無線整備事業	3億9,360万円
浄化槽設置整備事業費補助金	882万円
町道整備事業	1億8,662万円
公営住宅整備事業	1億9,607万円

◎ 結いの精神のまちづくり

百人委員会設置事業	162万円
軽米町協働参画地域づくりチャレンジ事業支援金	130万円
軽米町行政区活動交付金	760万円
軽米町地域活動支援事業費補助金	1,000万円

平成30年度
町役場職員組織図

※（再）は再任用職員

町長　山本賢一

副町長　藤川敏彦

教育長　菅波俊美

総　務　課

総括課長　吉岡 靖
（選挙管理委員会事務局長併任）

企画担当
企画担当課長 梅木 勝彦
課長補佐 日山 一則
主事 川原 愛実
主事 下谷地 さくら
主事 清水 裕輝
運転手 工藤 剛
用務員 田中 裕子
主任主査(再) 日山 充

総務担当
総務担当課長 小笠原 達夫
主任 山下 善昭
主事 小笠原 信也
主事 笹山 泰嵩
主事 久保田 真由（選挙管理委員会併任）
主任主査(再) 平 俊彦

派　遣
二戸地区広域行政事務組合 関向 幹也
社会福祉協議会(再) 山田 元
特別養護老人ホームいちい荘(再) 高橋 良春

産業振興課

総括課長　小林 浩
（農業委員会事務局長併任）

農政企画担当
農政企画担当課長 長瀬 設男（農業委員会事務局併任）
主任 紫葉 優樹（農業委員会事務局併任）
主事 小林 誠（農業委員会事務局併任）
主事 日山 菜穂実（農業委員会事務局併任）
主事補 永井 重徳（農業委員会事務局併任）

農林振興担当
農林振興担当課長 日脇 邦昭
主任主査 小笠原 隆人
主任主査 関向 孝行
主任 小野寺 繭子

商工観光担当
商工観光担当課長 畑中 幸夫
主事 玉舘 透
主事 兼田 一史
主事 小野寺 史葉

地域整備課

総括課長　川原木 純二
（水道事業所長併任）

環境整備担当
環境整備担当課長 江刺家 雅弘（水道事業所併任）
主任主査 竹澤 泰司（水道事業所併任）
主任主査 輪達 隆志（水道事業所併任）
主任主査 神久保 恵蔵（水道事業所併任）
主事 川崎 彩香（水道事業所併任）
運転手(再) 高田 和生（水道事業所併任）

上下水道担当
上下水道担当課長 中村 勇雄（水道事業所次長併任）
課長補佐 橋本 邦子（水道事業所併任）
主任主査 戸草内 和典（水道事業所併任）
主事 大村 亮憲（水道事業所併任）
主事補 福田 丈幸（水道事業所併任）
技師 工藤 航也（水道事業所併任）
運転手 苅敷山 佳樹（水道事業所併任）
主任主査(再) 於本 一則（水道事業所併任）

教育委員会事務局

総括次長　堀米 豊樹
（町立図書館・中央公民館長兼務）

教育総務担当
教育総務担当次長 工藤 薫
指導主事 関向 真介
主任主査 吉岡 芳幸
主査 寺地 亜紀子
主任 千葉 久司
主事 笹間 正紘
運転手 古舘 義明

生涯学習担当
生涯学習担当次長 大清水 一敬
次長補佐 工藤 祥子
主査兼学芸員 藤田 直行
主事 大川 訓寿
主事 関向 哲志
主事兼社会教育主事 古里 結美

町立図書館・中央公民館
主査 於本 博之

軽米幼稚園
園長 小林 昌治
主任教諭 下斗米 敏
主任教諭 山仁 江利子
教諭 吉田 彩香
教諭(再) 内澤 典子

健　康　福　祉　課

総括課長　坂下 浩志

健康づくり担当
健康づくり担当課長 大西 昇（健康ふれあいセンター所長兼務）
上席主任栄養士 工藤 晃子
保健師長 日向 安子
主任社会福祉主事兼栄養士 山田 里美
保健師 小林 真由美
保健師 瀧澤 さやか
主事 菅原 里枝
主任保健師(再) 中里 早苗
主任保健師(再) 櫻場 栄子

福祉担当
福祉担当課長 角田 貴浩
上席主任看護師 内城 良子
上席主任看護師 下谷地 由美子
社会福祉士 田代 沙織
保健師 八幡 美紀
主事 加藤 美紀
主事 山下 博之
主事 佐藤 柳介
主事補 明岡 寿
主任主査(再) 佐々木 久

軽米保育園
園長 外山 充
園長代理 小林 留美子
主任保育士 楾澤 順子
保育士 安藤 美由紀
保育士 滝沢 暢子
保育士 古川 唯
保育士 田中 里実
保育士 皆川 佳穂莉
調理師 新井田 直子
保育士(再) 石川 敦子
保育士(再) 野中 恵美子

小軽米保育園
園長 川崎 弥生
主任保育士 大清水 恵
保育士 増尾 祐子
保育士 藤田 由貴子
保育士 松山 あずさ
主任主査(再) 佐藤 暢芳（晴山保育園兼務）
調理師(再) 平船 シズエ

晴山保育園
園長 長坂 佐知子
保育士 坂本 麻衣子
保育士 金田 奈々
保育士 日山 佑香
保育士 金山 晃司
保育士 高田 牧子

笹渡保育園
園長 中村 由季

役場組織を一部見直し

４月１日から組織の一部見直しを行いました。グループ長に代わり、決裁権限をもった担当課長を配置。これまでの課長が総括課長となり、事務事業のスピードアップと政策能力の向上を図ります。

退職者（敬称略・平成30年３月31日付）

於本一則(健康福祉課長)
高田和己(産業振興課長)
平俊彦(再生可能エネルギー推進室長)
佐藤暢芳(議会事務局事務局長)
佐々木久(教育委員会事務局次長)
野中恵美子(軽米幼稚園長代理)
藤田美枝子(健康福祉課上席主任看護師)
平船シズエ(小軽米保育園調理師)
杉浦謙二(健康ふれあいセンター介護福祉士兼生活相談員)
藤嶋百合子(軽米中学校用務員)
横島咲菜(教育委員会事務局主事)
池田明広(地域整備課運転手)

町民生活課

総括課長　川島 康夫

総合窓口担当
担当課長 福田 浩司
主任 紫葉 千賀子
主事 木戸口 美里
主任主査(再) 中野 武美

町民生活担当
担当課長 坂本 修
課長補佐 外山 和寿
主任主査 鶴飼 靖紀
主任主査 古舘 寿徳
主事 山田 のぞみ
主事補 清藤 文喜

小軽米出張所
主任主査(再) 新井田 一徳

税務会計課

総括課長　小笠原 亨
（会計管理者兼務）

課税担当
課税担当課長 福島 貴浩
課長補佐 川原木 祐子
主査 寺地 隆之
主事 小野寺 悟
主事 脇山 春陽

収納・会計担当
収納・会計担当課長 松山 篤
課長補佐 橋場 光雄
主任主査 上村 利広
主査 輪達 ひろか
主事 野中 翔平

議会事務局

事務局長　小林 千鶴子
（監査委員事務局長併任）

主査 鶴飼 義信（監査委員事務局併任）
主任 川島 幸徳（監査委員事務局併任）

再生可能エネルギー推進室

室長　戸田沢 光彦

主任主査 野中 孝博
主任主査(再) 野中 勲

健康ふれあいセンター

所長補佐 松浦 近子
生活相談員 梅木 久美子
主事 玉舘 博一
介護福祉士兼生活相談員(再) 杉浦 謙二

※所長は健康づくり担当課長が兼務

新採用職員

健康福祉課主事
佐藤（さとう） 柳介（りゅうすけ）
（24歳・上新町）

祖母の実家がある軽米で暮らしたいと思い、この町に来ました。皆様よろしくお願いします。

産業振興課主事補
永井（ながい） 重徳（しげのり）
（23歳・大町）

生まれ育った広大で自然豊かな人情あふれるこの町を、町民の皆さんと共に発展させていきたいです。

軽米保育園保育士
皆川（みなかわ） 佳穂莉（かおり）
（23歳・仲軽米）

今の自分ができることに精一杯取り組みます。子どもたちの笑顔であふれる保育士を目指します。

晴山保育園保育士
高田（たかだ） 牧子（まきこ）
（34歳・向高家）

持ち前の元気で精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

軽米高校卒業式
それぞれの未来へ向かって

県立軽米高等学校の平成29年度卒業式が3月1日、同校体育館で行われました。3年間の学習過程を修了し、泉悟校長（当時）から卒業証書を受け取り、学び舎を旅立った卒業生56人。

泉校長は「皆さんは長い伝統を誇る本校で、毎日の学業や部活動、生徒会活動を通して軽高魂を培ってきた。保護者や地域の方々など多くの人に支えられて今がある。感謝の気持ちを忘れることなく、今後も努力を続けてほしい」とエール。

来賓として招かれた山本賢一町長は「ボランティア活動などの学校行事を通し、本町に明るい話題を提供してくれた。これからは伝統ある軽米高校の卒業生であることを誇りに持ち、自分の道を歩んでいってほしい」とあいさつしました。

在校生から卒業生に送辞が送られた後、卒業生を代表して野中麻衣さん（上円子）が答辞を述べました。野中さんは「3年間嬉しかったことも苦しかったことも、今となれば全て良い思い出です。この3年間の中で支えてくださったたくさんの人に感謝したい。私たちはこれから、56通りの人生をそれぞれの力で歩んでいきます」と感謝とこれからの決意を力強く語りました。

式の最後には、在校生と卒業生がエール交換をし、別れを惜しみました。涙ぐみながらエールを交わし合う姿に、学年という枠を超えて育まれた絆の深さが表れていました。

3年間の思い出を振り返りながら答辞を述べた野中さん

在校生にエールを送りました

力強く前を見据え、泉校長から卒業証書を受け取りました

軽高生の選択

これから始まる新たな人生を前に、卒業生はどのように自分の進路を選択したのでしょうか。４名の方にお話を伺いました。

野中麻衣さん（上円子）
埼玉大学教育学部

環境を変え学びの幅を広げたいと思い、母の出身地でもある埼玉県の大学に進学することに決めました。大学では教育学を学びます。学業以外でも多くの人と出会って、人として成長したいと思っています。そして、将来は小学校教諭として岩手県に戻ってきます。

賣井坂怜矢さん（上舘）
東京大学教養学部文科三類

学校生活では、１日最低６時間以上、自分で計画を立てその計画どおりに勉強することを心がけ、分からないことは必ず先生に聞くようにしました。大学では自分の好きな文学や歴史学を学んで学問に励み、将来は社会の役に立つような仕事に就きたいです。

沢田涼将さん（下河南）
ポラスハウジング協同組合

埼玉県の建設業の会社に就職します。建設関係の仕事をする叔父の職場を見学したことがあり、自分の手で何かを作り上げる姿に憧れました。普通科出身で、工学科出身の人にスタートラインでは負けてしまいますが、必ず追い越せるように努力したいと思います。

圃田大地さん（向川原）
岩手県職員

４月から県職員として、金田一中学校で事務の仕事をします。18年間岩手県に住んできて、各市町村の実態を知りたいという気持ちがあり、また岩手県民のために働きたいと思ったのでこの仕事を選びました。これから、社会人として毎日精いっぱい頑張ります。

平成29年度の県立軽米高校卒業生進路状況（平成30年３月26日時点）

進学の状況

	進学実数	合格延数
国公立大学	10	10
私立大学	8	12
短期大学	2	2
医療系専門学校	3	4
専門学校(除医療系)	19	20

就職の状況

	県内	県外
内定者数	6	5

公務員試験合格状況

	岩手県職員	軽米町職員	自衛官候補生
合格者数	1	1	2

平成29年度岩手県消防表彰式

消防活動に貢献した18人が受章

受章の報告に山本町長のもとを訪れた消防団員

岩手県消防表彰式が3月23日に盛岡市民文化ホールで開催され、町の消防団員や婦人消防協力隊員など、長年にわたり消防活動に貢献した功労者18人に表彰状と記念品が贈られました。

表彰式後、受章者は役場を訪れ、山本賢一町長に受章の喜びを報告。山本町長は「皆さんの長年の努力と功績が今回の受章につながったものであり、心からお祝いいたします。これからも町の安心・安全を皆さんと一緒に作っていきたいと思いますので、よろしくお願いします」と団員たちを労いました。

各章と受章者は左のとおりです。（敬称略）

受章者一覧

■消防庁長官表彰
【永年勤続功労章】
田代啓吉（本部長）

■岩手県知事表彰
【功績章】森康夫（分団長）
内沢正明（部長）
紫葉雅彦（部長）
小林一幸（班長）
松浦満雄（団員）

■日本消防協会長表彰
【精績章】佐藤榮一（本部付分団長）
【勤続章】中里宣博（班長）
久保元（班長）
波柴賢一（団員）
安藤和彦（団員）

■岩手県消防協会長表彰
【功労賞】田代啓吉（本部長）
【功績賞】大村錦一（分団長）
清水隆治（分団長）
井戸畑昭博（分団長）
【内助功労】古里浩子（分団長令夫人）
森勝枝（分団長令夫人）
【優良協力隊員】
川島キエ（増子内地区隊長）
一條トモ子（小軽米地区隊員）

人権擁護委員に笹山さん

平成30年4月1日付けで、笹山結実男さんが人権擁護委員に委嘱されました。任期は平成33年3月31日までです。

人権擁護委員は、家庭内の問題やいじめ、隣近所とのもめごとなど、人権問題の相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済をします。

笹山 結実男 さん
（新井田、56歳）

1 町内を巡るバスツアーに参加してみませんか？

総務課・企画担当 ☎46-2111

昨年度バスツアーの集合写真

町内をめぐるバスツアーを開催します。
たくさんのご応募、お待ちしております。

◆日時　５月14日(月)　９：00～15：00
◆募集人数　先着30名
◆参加費用　１人　1,000円
◆視察先　雪谷川ダムフォリストパーク・軽米など
◆申込期限　５月２日(水)　17：00まで
◆申込方法　役場(総務課)までお電話ください。
※当日の集合場所は、「役場」「小軽米出張所」「晴山出張所」からお選びいただけます。

2 チャレンジ事業の応募団体を募集します!!

総務課・企画担当 ☎46-2111

町では、協働参画による地域づくりを推進していくため、町民が自主的かつ主体的に取り組む事業に対して予算の範囲内で支援金を交付しています。

◆対象事業
行政区、町内会、自治会、企業およびNPOなど町内各種地域団体が町内で行う社会性の高い自主的・主体的かつ公益的な事業

◆対象経費
事業に要する経費から他の補助金・助成金の財源を除いた額

◆交付額
・スタートアップ事業　（事業申請３回目までの事業）
経費の３分の２以内（上限額１事業あたり50万円）
・ステップアップ事業　（事業申請４回以上の事業）
経費の３分の１以内　（上限額１事業あたり30万円）

◆申込締切　５月25日（金）

◆その他
応募された団体の代表者は後日行われる審議会で事業説明をお願いします。

3 ４月は軽自動車税の納期です

税務会計課・課税担当 ☎46-4737

◆課税される車輌
軽自動車税は、毎年４月１日現在、軽米町に「主たる定置場」がある軽自動車（原付・小型特殊自動車・軽自動車・二輪の小型自動車）の所有者などに課税されます。

◆登録・廃車手続きについて
軽米町ナンバーのついている車輌（原付・小型特殊自動車）は役場税務会計課で、岩手ナンバーのついている車輌（軽自動車・二輪の小型自動車）は軽自動車協会等で手続きができますので、異動があった場合はお早めに手続きをしてください。

◆軽自動車税の減免について
障がい者の方が所有する軽自動車などは、申請により軽自動車税が減免になる場合があります。該当されると思われる方は、５月１日（火）までに役場税務会計課へ申請をしてください。

◆申請に必要なもの
①納税通知書　②印鑑
③手帳（障害者手帳）　④運転免許証

4 かるまい議会だよりの縮刷版を希望者に販売します

議会事務局 ☎46-4745

「かるまい議会だより」の第１号（昭和39年７月発行）から211号までの全ページを縮小掲載した、縮刷版が完成しました。閲覧用として、町立図書館に配置していますのでご覧ください。

数に限りはありますが、希望する方には販売もしますので、議会事務局またはお近くの町議会議員までお問い合わせください。

◆仕様　Ａ４判横置き（縦21㎝×横30㎝×厚さ５㎝）
上・下巻で１組（総ページ数1,868ページ）
◆金額　１組２万円
◆数量　50組

議会の歴史を振り返ってみてはいかがですか？

きれいに作ったひな人形
―晴山保育園・ひなまつり会―

晴山保育園（坂本修園長、園児53人＝当時）で３月２日、ひなまつり会が行われました。ホールに飾られた雛壇の前で童謡「うれしいひなまつり」を歌ったり、保育士からのひな祭りに関するクイズに答えたりして楽しんだ園児たち。当日までに自分たちで作っていたひな人形をみんなの前で発表す場面では、大変だったところや工夫したところなどを堂々と発表していました。

お手製のひな人形の工夫したところを発表しました

読み聞かせに感謝
―読書ボランティアに感謝する会―

「読書ボランティアに感謝する会」が３月２日、小軽米小学校（藤本実校長、児童60人＝当時）で開催されました。小軽米小学校で１年間毎週、朝の時間に本の読み聞かせを行った読書ボランティア５人に対し、感謝を伝えることが目的。児童を代表して松本優生君が「一瞬で本の世界に入り込めた。皆さんの読み聞かせを毎週楽しみにしてました」と感謝の気持ちを伝えました。

読書ボランティアの方に色紙を渡す児童たち

①二戸広域軽米消防署員から消火栓とホースのつなぎ方を学ぶ蜂ケ塚地区の地域住民 ②高家地区で開かれた自主防災講演会 ③講師を務めた守田敏正さん

自助意識高まる
―各地区の取り組み―

初期消火訓練が３月11日、蜂ケ塚地区で行われました。二戸消防署軽米分署員を講師に招き、消火栓とホースをつないで放水する方法を学んだ参加者たち。一連の指導が終わった後、署員に何度も動作を確認するなど熱心な様子で学んでいました。

高家地区では、３月15日に町健康福祉課が主催するふれあい共食事業の中で、自主防災に関する講演会が行われました。講師を務めた岩手県地域防災サポーターの守田敏正さんは、地元岩泉町の自主防災組織を例に出しながら、自主防災組織の立ち上げの仕方などを講演。参加者は自助の大切さに深く納得している様子でした。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

決起集会でキャップに町名掲出決定

2018応援大使のファイターズ大田泰示選手が、「音更町」の文字をキャップに掲出する権利を見事引き当てました。５月18日から20日に札幌ドームで開催される試合で、町名入りキャップをかぶったファイターズ選手を見ることができます。皆さん楽しみにしていてください。

抽選を引き当てた大田・黒羽根両選手

2選手が来町し飛躍誓う
―グルージャ盛岡訪問―

３月１日、サッカー・Ｊリーグのグルージャ盛岡の２選手が役場庁舎を訪問しました。平成29年度から当町がグルージャ盛岡のホームタウンに追加されたことことがきっかけです。町長室を訪れた安楽健太選手と嫁阪翔太選手は「今年は１桁順位で勝ち点40を目指す」と抱負を述べると、山本町長からは「子どもたちに夢と希望を与えてほしい」とエールが送られました。

当町を訪問した安楽選手（左）と嫁阪選手（右）

ラピアで軽米をＰＲ
―観光と物産キャンペーン―

観光と物産キャンペーン（町観光協会主催）が３月３日と４日、八戸ショッピングセンターラピアで行われました。２日間で「かるまいブランド認証品」などさまざまな町の特産品を販売し、軽米をＰＲ。そのほか、姉妹町音更町出身のシンガーソングライター流さんや宇漢米太鼓によるステージ演奏が行われ、会場からは大きな拍手が送られていました。

軽米の特産品に足を止める人々

熱い腕試し
―アームレスリング大会―

第５回二戸地区・第24回岩手県アームレスリング大会（岩手県アームレスリング連盟・翔腕道場主催）が３月25日、農村環境改善センターで開催されました。アームレスリングは腕相撲と比較されますが、肘を動かせる範囲などに違いがあります。当日は小学生の部や一般女子の部など５クラスにおよそ150人が参加。参加者は、鍛え上げられた上腕で相手と真剣勝負し合いました。

小学生も力の限りに腕試し

PENCIL
夢·希望·えんぴつ

小林 龍和 さん
こばやし・りゅうと　軽米中１年（沢田）

夢に向かって

ぼくの将来の夢は、獣医師になることです。どんなに難しい治療でもあきらめず、治せない病気はないと言われるような獣医師になって、動物も飼い主も笑顔にできるような仕事をしたいと考えています。

「あきらめないこと」がプロフェッショナル。そう考えたのは、国語の学習で三人のプロフェッショナル達の仕事に対する姿勢と思いを学んだからです。海獣医師の勝俣さんも、板金職人の国村さんも、そしてパティシエの杉野さんも、あきらめずに挑戦することで自分の道を見つけることができました。

四月からいよいよ中学生になりました。中学校では、特に数学や理科、外国語の学習を頑張りたいです。数学は薬の調合をする時に役に立つし、理科では動物の生態や体の構造を学べます。また、外語語は海外の医学書を読む時に役立ちます。三人のプロフェッショナルのような仕事ができるように、ぼくもあきらめずに頑張ります。

HAIKU
今月の俳句 ～まちの文芸～

川原辺（かわらべ）に残る寒さや鳥の群（とりむれ）　丹下　美恵子

しんしんと足跡（あしあと）を消し雪積（つ）もる　東　登希枝

八等分（はちとうぶん）の白菜（はくさい）を買ひ春を待つ　中野　とき子

小説（しょうせつ）にのめり込みゐて春炬燵（はるごたつ）　千葉　紅園

菠薐草（ほうれんそう）高値（たかね）にしばし手を止める　君成田　美代子

二（に）ン月（がつ）の肌刺（はださ）す風をはねのけん　千葉　ふみ子

奥入瀬（おいらせ）をみごとに飾る滝氷柱（たきつらら）　三上　千栄女

母にはまた母の思出春浅（はるあさ）し　高橋　美智子

雪晴（ゆきばれ）や朝日に染（そ）まる裏の丘　川崎　郁子

雪女郎息吹（ゆきじょろういき）きかけし玻璃戸（はりど）かな　松村　英子

※町文化協会「北光吟社」の例句会より俳句を紹介しています

◆**好きな本**　キングダム
◆**好きな音楽**　三浦大知
◆**ハマっていること**　ジムで体を動かすこと、日本酒
◆**理想の異性のタイプ**　意思が強く夢を持っている人

PERSON
きらきら光る

長瀬（ながせ） 美幸（みゆき） さん(33歳・下尾田)

Q、お仕事を教えてください。
八戸市チーノ１階の猫カフェ「猫処またたび亭」で働いています。オープン前より店づくりのお手伝いをしており、途中で勤め先を辞め本職にしました。猫が大好きなのでとても楽しいです。

Q、猫の好きなところは？
しなやかなところ！ 自由気ままな魅力に取りつかれています。パーツで好きなところは、手と気分によって動きが変わるしっぽです。

Q、町をどう思いますか
地域おこし協力隊などをもっと活用して、町が盛り上がる取り組みが増えれば良いなと思っています。

Q、最後に一言お願いします
個性豊かな猫たちのいる猫カフェに遊びに来てくださいね！

←長瀬さんの推しニャン虎丸くん

BOOKS
図書館だより

今月の図書館ひろば
日時：４月14日 10:00～11:00　**場所**：図書館となりの蔵
対象：幼児・小学校低学年

今月の新刊

きょう、おともだちができたの
作/得田之久 絵/種村有希子（童心社）

はずかしがりやで泣き虫のゆうなちゃんに、初めてのおともだちができました。りなちゃんが「ゆうなちゃん、あそぼ」と言ってくれたのです。

そして、バトンは渡された
著/瀬尾まいこ（文藝春秋）

血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子、17歳。いつでも家族を愛し、愛されていた―。人の温かさを想う、優しい物語。

私のおすすめはこの本!!

荒澤（あらさわ） 和奏（わかな） さん(軽米小５年)
29年度町読書に関する作品コンクール
読書感想画 ３・４年生の部 最優秀賞

いやし犬まるこ
著者/輔老心(岩崎書店)

この本は、いやし犬まるこが、病気やけがで体が不自由な人や、元気がない人を元気にするお話です。
私は、元々野犬だったまるこがセラピー犬として、体の不自由な人を元気にしていくところが好きです。

4 月のテーマ図書展 グリーン

緑が日一日と濃くなってまいりました。緑には、気持ちを穏やかにしリラックスさせてくれる効果があります。本を利用して、緑あふれる生活をもっと楽しんでみませんか？

Health
健康メモ

お子さんの健やかな成長・発達のお手伝いをします

健康福祉課
主任保健師 中里早苗

町では、お子さんが「丈夫に育つ」ことをめざして小学校入学前までさまざまな健診・教室を行っています。保護者の方々には対象時期にしっかりと受けていただいています。

健診や教室の際に、成長に合わせてさまざまな内容を取り入れています。赤ちゃんの時期には、発達相談員により赤ちゃんへの接し方のアドバイスをしています。また、離乳食の進め方のアドバイスは栄養士が調理したものを試食しながらの体験学習です。その後、１歳、１歳６カ月、２歳、３歳の健診では、歯科検診後に歯磨きの仕方の説明やフッ素を塗るなど、むし歯の予防を目指した内容で行っています。予防接種の進め方は、健診を受けていただいたお子さんの状況に合わせて個々にお伝えしています。

また、保育園入園後にも、定期内科健診の際に保健師・栄養士が結果を確認しながらお子さんの健康づくりのためのお手伝いをさせていただいています。

年中児となる５歳児教室では、就学準備のためのお手伝いとしてお子さんの様子に合わせ、よりよい成長のための支援を準備しています。

保護者の皆さんには、健診や教室に参加したつど、元気になって、その後の育児にあたっていただけることを願っています。心配なこと、気になることは保健師や栄養士にご相談ください。安心してお子さんに向かえるパワーを得られるかもしれません。

LIFE
目指そう！はつらつ人生

知っていますか？成年後見制度

健康福祉課 田代沙織

みなさんは、成年後見制度という言葉を聞いたことはありますか？

成年後見（せいねんこうけん）制度とは、認知症や障がいなどにより、ものごとを自分で考えて決めることが難しい方を守るための制度です。

例えば、一人暮らしの方や頼れる家族や親せきが近くにいない方は、これからの生活で認知症や障がいになったとき、貯金や不動産の管理、福祉サービスの契約に関することなど、不安に感じることはないでしょうか？

いつまでも住み慣れた町で、自分らしく、安心した生活を続けるために、成年後見制度の利用を考えてみませんか？

◎成年後見制度の種類と内容

	法定後見制度	任意後見制度
利用できる人	判断能力に不安のある方	現在は判断能力があるけれど、将来に備えておきたい方
支援する人	後見人、保佐人、補助人	任意後見人
支援の内容	本人の預貯金や財産等の管理、医療や介護サービスの手続きや支払いなど	本人との契約内容で定めた行為
利用方法	本人、配偶者、４親等内の親族等が家庭裁判所へ申立を行います	本人が信頼できる人（後見をお願いしたい人）と話し合い、公証人役場で公正証書を作成し契約します

◎相談窓口

カシオペア権利擁護支援センター（二戸市）　☎43-3042
健康福祉課・福祉担当(役場１階)　☎46-4736
町地域包括支援センターブランチ(町社会福祉協議会)　☎46-2881

Calender
イベント情報

4 ～ 5 月

カレンダー内の【 】は開催場所で次のとおり表示します。**体**:町民体育館　**環**:農村環境改善センター　**公**:中央公民館　**図**:町立図書館　**ふ**:健康ふれあいセンター　**ハ**:ハートフル・スポーツランド　**役**:役場　**物**:物産交流館　**フォ**:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
4/15	16	17	18 介護者のつどい 13:30～15:30【公】	19	20	21
22 休日納税相談 8:30～17:00【役】 まちの相談室 9:30～11:30【物】	23 夜間納税相談 17:15～20:00【役】 うまっこ教室 9:30～12:00【ふ】	24 夜間納税相談 17:15～20:00【役】 教育相談 9:00～15:00【公】	25 ３歳児健診 13:00～13:30受付【ふ】 お知らせ版発行	26	27	28
29	30	5/1	2 まちの相談室 9:30～11:30【物】	3 森と水とチューリップフェスティバル (ステージイベント)【フォ】	4	5
6 森と水とチューリップパークゴルフ大会【ハ】	7	8	9 寿大学開講式 【公】 乳児健診 13:00～13:30受付【ふ】 広報・お知らせ版発行	10 婦人健診 9:00～10:30【笹渡セ】 13:30～15:00【小玉セ】	11 婦人健診 9:00～10:30【高家セ】 13:30～15:00【晴山公】	12
13 婦人健診 9:00～11:00【ふ】	14 町内視察バスツアー 8:30～15:00【町内】 婦人健診 13:00～15:30【環】 17:00～18:30【環】	15 婦人健診 9:00～10:30【小軽米改セ】 13:30～15:00【米田農セ】	16	17	18	19

芝桜スポーツフェスティバル ～6/17

休日当番医

日付	当番医(住所)	電話	当番歯科医(住所)	電話
４月22日(日)	すがわら消化器内科(二戸市)	☎23-2879	渡辺歯科医院(二戸市)	☎23-2052
29日(日)	よこもり眼科クリニック(二戸市)	☎22-2230	沢藤歯科医院(二戸市)	☎23-4002
30日(月)	金田一診療所(二戸市)	☎27-2205	國香歯科医院(二戸市裏小路)	☎23-2223
５月３日(木)	千葉耳鼻咽喉科医院(二戸市)	☎26-8133	森川歯科医院(二戸市)	☎23-6361
４日(金)	小野寺クリニック(軽米町)	☎46-2822	岩渕歯科医院(一戸町)	☎32-2238
５日(土)	おりそ内科循環器クリニック(二戸市)	☎22-2251	國香歯科医院(二戸市石切所)	☎23-2764
６日(日)	浄法寺診療所(二戸市)	☎38-2021	宮沢歯科医院(軽米町)	☎46-2953

岩手県最低賃金が改正されました！

岩手県最低賃金が、平成29年10月１日(日)から時間額738円となりました。

・岩手県内で働くパートタイマー・アルバイト等を含む全ての労働者に適用されます。

・賃金額が、時間額738円を下回っている場合は、発効日以降の賃金額が738円以上となるよう是正する必要があります。

・岩手県最低賃金のほか、産業別最低賃金が５つ設定されていますので、ご留意ください。

■問い合わせ

岩手労働局労働基準部賃金室

☎019-604-3008

http://iwate-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp

いわて花巻空港の平成30年上期のダイヤ改正のお知らせ

いわて花巻空港の定期便のダイヤが３月25日から10月27日までの期間で改正されています。

いわて花巻空港からは、札幌、名古屋、大阪、福岡への直行便が毎日運航されています。

航空券は早期購入割引で予約するとお得です。旅行に、ビジネスに、いわて花巻空港をぜひご活用ください。

▶航空券の予約購入

ＪＡＬ・ＦＤＡ各社のホームページまたは次の予約専用電話によりご予約ください。

○日本航空(ＪＡＬ)

☎0570-025-071(７時～ 20時)

○フジドリームエアラインズ(ＦＤＡ)

☎0570-55-0489(７時～ 20時)

くらしの相談窓口出張相談会を開催します

くらしの相談窓口では、くらしのなかの困りごと（就職がきまらない、家賃が払えないなど）についての出張相談会を開催します。

事前の申込は不要です。

▶日時　4月27 日(金)
10：00 ～ 12：00

▶場所　軽米町防災センター (向川原)

■問い合わせ　二戸市社会福祉協議会くらしの相談窓口　☎ 43-3588

BSチャンネル放送休止のお知らせ

下記のBSチャンネルは放送設備工事のため放送を休止します。

工事終了後、一部のテレビでBSチャンネルの視聴や録画ができなくなる場合があります。詳しくは下記までお問い合わせください。

◎ＢＳジャパン
▶日時　４月16日(月)
0：00 ～６：00

◎ＮＨＫ　プレミアム
▶日時　５月８日(火)
0：00 ～６：00

◎ディズニーチャンネル
▶日時　５月22日(火)
0：00 ～６：00

◎ＢＳアニマックス
▶日時　５月22日(火)
0：00 ～６：00

◎スターチャンネル２
▶日時　５月28日(月)
0：00 ～８：00

◎スターチャンネル３
▶日時　５月27日(日)
11：30 ～ 24：00
５月28日(月)
0：00 ～８：00

■問い合わせ

新４Ｋ８K衛星放送(A-PAB)コールセンター

☎0120-480-004

(土・日・祝日休み)

ほっとひといき

▼３月に人事異動が発表され、私は、本年度も広報担当を務めることになりました。２年目となりますが、皆様に愛される広報誌を目指して努力していきますので、今年も広報をよろしくお願いします。▶取材させていただいた軽米高校の卒業式は、目頭が熱くほど感動的なものでした。特に卒業生代表の答辞。私も中学生だった頃、突然答辞に指名され緊張した記憶がありますが、卒業生代表の野中さんは、話の導入から堂々と話していて、時折３年間の思い出が蘇って、涙をこらえる姿が印象的でした。▶今月から誌面をプチリニューアル！気に入っていただけたら、嬉しいです。（清水）

仕出し 御膳 味彩（あじさい）
お膳・折詰・弁当・オードブルお祝いごとやご法事等にお気軽にお電話ください。
軽米町大字軽米11-127-4　☎４６－３６８０

ヘアーサロン ＭＯＯＮ
毎日がんばっている自分にプチご褒美！
ヘッドスパ、ヘアトリートメント、お顔そりなど
★受付時間★
8：00 ～ 20：00 ㊡火曜日
★住所★
軽米町大字晴山19-24-5
☎４３－４２５２ 担当：下岩愛子

玉姫グループ
葬儀・法要専門会館
セレモニーホール
玉泉院
その人生に感謝を。
葬儀・法要お気軽にご相談ください　館内見学、事前見積り相談承っております。
二戸玉泉院　二戸市金田一字ハッ長30-6　TEL.0195-29-1600
久慈玉泉院　久慈市湊町14-18-2　TEL.0194-53-0061
軽米玉泉院　軽米町大字上舘15-130-1　TEL.0195-46-4109
福岡玉泉院　二戸市福岡字下町10　TEL.0195-23-4440
九戸玉泉院　九戸村大字伊保内3-13-16　TEL.0195-43-3409

広告

戸籍の窓（２月分）<敬称略>

おめでとう　（）内は父母の名

古　舘　陽佳梨（ひかり）　緑ヶ丘　(伸郎・里美)
於　本　陽莉（ひより）　桜山　(祐貴・結香)

おしあわせに

堀田沢　慎　志　沢里
田　中　悠　佳　沢里

おくやみ　（）内は享年

古　舘　チ　ヤ　横枕　(91)
玉　川　イ　ト　下河南　(90)
小野寺　勝　文　大町　(85)
駒　木　マツノ　観音林南　(91)
竹　澤　和　雄　仲軽米　(83)
大　橋　久　子　鶴飼　(80)
渡　邊　ト　ミ　下増子内　(99)
大　石　善三郎　貝喰　(87)
田　中　キ　ク　笹渡　(101)
吉　岡　ト　ミ　河北　(84)
川　原　憲　雄　米田　(63)
横　道　ヤ　ス　中村　(74)

人の動き

２月末	男	女	計	世帯
現在	4,585人	4,809人	9,394人	3,776世帯
先月比	- 5人	- 4人	- 9人	- 4世帯

２月末	出生	死亡	転入	転出
現在	2人	17人	9人	3人
累計	10人	27人	21人	8人

※累計は１月からの合計

交通事故・救急車出動回数等

２月	人身事故	死傷者	負傷者	物損事故	救急車出動回数	飲酒運転検挙者数
今月	0件	0人	0人	21件	40回	0人
累計	2件	0人	2人	45件	92回	0人

※累計は１月からの合計

生活安全の森

春の全国交通安全運動の実施

二戸警察署軽米駐在所

春の交通安全運動を４月６日から10日間実施しています。運動の重点は次のとおりです。

◆子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の事故防止

運転中に子どもや高齢者を見かけたら、速度を落とし、安全な間隔を保つなど思いやりのある運転を心がけましょう。

◆自動車の安全利用の推進

自転車も車の仲間です。交通ルールを守り交通事故を防止しましょう。

◆全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの着用徹底

車のドライバーは、車に乗った全ての人にシートベルト・チャイルドシートを正しく着用させ、交通事故から命を守りましょう。

◆飲酒運転の根絶

「飲酒運転をしない・させない」の合言葉を徹底し、ドライバーの方はもちろん、家族や職場の皆さんも協力して飲酒運転を根絶しましょう。

みんなの国民年金

学生納付特例制度

町民生活課・町民生活担当

20歳以上の方は、学生であっても国民年金に加入し保険料を納めることになります。しかし、学生の方は所得が少ないなどの理由で国民年金保険料を納めることが経済的に困難な場合があるため、納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

対象となる方は、大学など（修学年限１年以上である課程）に在学する20歳以上の方で、ご本人の前年所得が一定額以下であることが条件です。

〈所得のめやす〉 118万円＋{扶養親族等の数×38万円}

学生納付特例の承認期間は４月から翌年３月までとなります。お手続きの際には、年金手帳、在学証明書または学生証（写しでも可）、認印、マイナンバーカードまたは通知カード、本人確認書類（運転免許証、パスポートなど）をご持参ください。

※詳しくは、二戸年金事務所（☎23-4111）または町民生活課（☎46-4734）にお問い合わせください。

広告
住まいのトラブル!! 困った? 解決します!!
かんぶん 便利くん 二戸店
便利くんスタッフがご自宅までご訪問いたします!!
見積無料
水まわり・台所 ボイラー・ストーブの修理 草刈りだってなんでもボクにオマカセ!!
お気軽にご相談ください
受付時間 午前9:00▶午後6:00
フリーダイヤル 0120-019-586

広報
かるまい
4
No.709
平成30年
4.11発行

発行／岩手県軽米町　編集／総務課
〒028-6302　九戸郡軽米町大字軽米10-85

電話　0195-46-2111(代)
FAX　0195-46-2335
ホームページ　http://www.town.karumaiiwate.jp/

我が家の人気者

すこやかさん

兼田（かねた） 杏莉（あんり） ちゃん

平成28年１月31日生まれ（沢田）

いつも笑顔で家族を元気にしてくれる杏莉ちゃん。
兄弟仲良しでいつも一緒に遊んでいます。

健康で元気な子に育ってね。
翔太・亜希子より

「すこやかさん」では、６歳以下のお子さんの応募をお待ちしております。出演を希望される方は、次のアドレスまで①親子の名前、②連絡先、③連絡のとれる時間帯を記載し、件名を「すこやかさん出演希望」とご記入しお送りください。➡　soumu@town.karumai.iwate.jp